

# 家 庭

## (家庭総合)

発 行 者			教 科 書 の 記 号	判 型	総ページ数	検 定 済 年
番 号	名 称	略 称	番 号			
2	東京書籍	東書	家総 701	AB	286	令和3年
6	教育図書	教図	家総 702 ◆	AB	290	
7	実教出版	実教	家総 703 ◆	AB	282	
9	開隆堂出版	開隆堂	家総 704 ◆	AB	262	
50	大修館書店	大修館	家総 705 ◆	A4	306	
183	第一学習社	第一	家総 706 ◆	AB	268	

※ 「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

家庭総合		冊数	6冊
発行者の略称・ 教科書の番号	東書701 教図702 実教703 開隆堂704 大修館705 第一706		

## 2 学習指導要領における教科・科目の目標等

### 【家庭の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

### 【家庭総合の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

### 【家庭総合の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<b>A 人の一生と家族・家庭及び福祉</b> (1) 生涯の生活設計 (2) 青年期の自立と家族・家庭及び社会 (3) 子供との関わりと保育・福祉 (4) 高齢者との関わりと福祉 (5) 共生社会と福祉	<b>ア</b> 内容AからCまでについては、生活の科学的な理解を深めるための実践的・体験的な学習活動を充実するとともに、生活の中から問題を見だしその課題を解決する過程を重視すること。また、現在を起点に将来を見通したり、自己や家族を起点に地域や社会へ視野を広げたりして、生活を時間的・空間的な視点から捉えることができるように指導を工夫すること。
<b>B 衣食住の生活の科学と文化</b> (1) 食生活の科学と文化 (2) 衣生活の科学と文化 (3) 住生活の科学と文化	<b>イ</b> 内容のAの(1)については、人の一生を生涯発達の視点で捉え、各ライフステージの特徴や課題と関連を図ることができるよう、この科目の学習の導入として扱うこと。また、AからCまでの内容と関連付けるとともにこの科目のまとめとしても扱うこと。
<b>C 持続可能な消費生活・環境</b> (1) 生活における経済の計画 (2) 消費行動と意思決定 (3) 続可能なライフスタイルと環境	<b>ウ</b> 内容のAの(3)については、学校や地域の実態等に応じて、学校家庭クラブ活動などとの関連を図り、幼稚園、保育所及び認定こども園などの乳幼児、近隣の小学校の低学年の児童との触れ合いや交流の機会をもつよう努めること。また、(4)
<b>D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動</b>	

	<p>については、学校家庭クラブ活動などとの関連を図り、福祉施設などの見学やボランティア活動への参加をはじめ、身近な高齢者との交流の機会をもつよう努めること。(5)については、自助、共助及び公助の重要性について理解を深めることができるよう指導を工夫すること。</p> <p>エ 内容のBについては、実験・実習を中心とした指導を行うこと。なお、(1)については、栄養、食品、調理及び食品衛生との関連を図って指導すること。また、調理実習については食物アレルギーにも配慮すること。</p> <p>オ 内容のCの指導に当たっては、A及びBの内容と相互に関連を図ることができるよう工夫すること。(2)については、消費生活に関する演習を取り入れるなど、理解を深めることができるよう努めること。</p>
--	--

### 3 教科書の調査研究

#### (1) 内容

##### ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）	数値データの単位
a 衣食住に関する実験・実習の題材数	教科の内容	個
b 高齢者や乳幼児との触れ合いについて取り上げられている箇所数	第1章総説 第2節 家庭科改訂の趣旨及び要点 (3)各科目の内容の改善	個
c 「契約」について取り上げられているページ	第1章総説 第2節 家庭科改訂の趣旨及び要点 (3)各科目の内容の改善	ページ
d 発展的な内容を取り上げている箇所数	教科の内容	個

##### イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

###### ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b、c、d との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 衣食住に関する実験・実習の内容
- b 高齢者や乳幼児との触れ合いに関する内容
- c 契約に関する内容
- d 発展的な内容の概要

<その他>

- \* 防災や自然災害の扱い
- \* 持続可能な社会づくりの扱い
- \* 性差・家族に関する表現
- \* オリンピック、パラリンピックの扱い
- \* 「成年年齢の18歳への引下げ」の扱い

###### ② 調査対象事項を設定した理由等

- ・ 学習指導要領に、各科目に配当する総授業時数のうち、原則として10分の5以上を実験・実習に配当することとあることから、実験・実習の題材について調査する。
- ・ 高齢化及び少子化の進展に対応して、「家庭総合」では、子供の遊びと文化、子育て支援、子供の発達に応じた適切な関わり方の工夫などに関する内容を取り上げている。また、高齢者については、尊厳と介護（認知症を含む）について高齢者の心身の状況に応じた生活支援に関する内容の充実を図っていることから、高齢者と乳幼児の触れ合いについて調査する。
- ・ 消費生活・環境については、成年年齢の引下げに伴い、契約の重要性や消費者保護の仕組みに関する内容を充実することから、契約について調査する。

- ・ 学習指導要領に、内容の範囲や程度等を示す事項は、当該科目を履修する全ての生徒に対して指導するものとする内容の範囲を示したものであり、学校において必要がある場合には、この事項にかかわらず指導することができるため、発展的な内容について取り上げている箇所について調査する。
- \* 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- \* 生徒には、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される。学習指導要領に基づき、正しい理解ができるように、持続可能な社会づくりの扱いについて、調査する。
- \* 性差・家族に関する表現については、「東京都男女平等参画基本条例」に基づき、男女が互いの違いを認めつつ、個人として尊重される男女両性の本質的平等の理念を生徒に理解させ、その具現化を図るため、適正な男女平等教育を推進するという視点より、男女が家庭生活における活動に対等な立場で参画する観点や家庭観について取り上げられている内容について調査する。
- \* 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- \* 成年年齢引き下げは2018年6月20日公布、2022年4月1日施行であり、高等学校等における消費者教育の推進が求められているため、「成年年齢の18歳への引き下げ」について調査する。

## (2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫
- ② ユニバーサルデザインの視点
- ③ デジタルコンテンツの扱い

「別紙1」【(1)内容 ア 調査研究の総括表】(家庭総合)

調査項目			a	b	c	d	
			の衣食住に関する実験・実習の教材数	い高にる箇所数	ら「契約」について取り上げられているページ	いる発展的な内容を取り上げている箇所数	
発行者	教科書番号	教科書名	個	個	ページ	個	(全体のページ数)
東書	701	家庭総合 自立・共生・創造	118	12	6	0	286
教図	702	未来へつなぐ 家庭総合 365	100	13	11	0	290
実教	703	家庭総合	125	19	6	0	282
開隆堂	704	家庭総合 明日の生活を築く	95	10	4	0	262
大修館	705	クリエイティブ・リビング Creative Living 『家庭総合』で生活をつくろう	114	11	12	0	306
第一	706	高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる	144	19	8	0	268
平均値			116.0	14.0	7.8	0.0	282.3

・aの「衣食住に関する実験・実習の教材数」は、実験、実習等の数を数えた。

・bの「高齢者や乳児との触れ合いについて取り上げられている箇所数」は、扱っている題材・項目数を数えた。

・cの「「契約」について取り上げられているページ」は、巻頭・巻末資料を含めて数えている。

・dの「発展的な内容を取り上げている箇所数」は、学習指導要領で扱う内容以外の発展的な内容について扱っている題材・項目等を数えた。

ア 食生活の科学と文化	イ 衣生活の科学と文化	ウ 住生活の科学と文化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の生活の振り返り、生活リズムのチェック (P105)</li> <li>・どうすれば朝食欠食が減るか考える (P106)</li> <li>・朝食のとり方を工夫する (P106)</li> <li>・カップラーメンの栄養バランスを調べ、食べる時の工夫を考える (P107)</li> <li>・BMIを計算しよう (P108)</li> <li>・夕食献立にハンバーグを含めるための手段とメリットを考える (P109)</li> <li>・体内での水の働きと、水分摂取の必要性を考える (P110)</li> <li>・不溶性と水溶性の食物繊維がとれる食材と、それらを利用した料理を調べる (P111)</li> <li>・さまざまな国の主食と、気候との関連を分析する (P112)</li> <li>・小麦粉のグルテンを確かめる (P113)</li> <li>・肉や魚の部位や種類による、脂質の量や種類の違い (P114)</li> <li>・サラダ油やマーガリンの原料を調べる (P115)</li> <li>・米とあじのアミノ酸値と、たんぱく質の補足効果 (P116)</li> <li>・たんぱく質の摂取不足によって起こる、体の不調について調べる (P117)</li> <li>・鉄の吸収を高めるために、ビタミンCと組み合わせる調理法を工夫する (P118)</li> <li>・吾平な食品の栄養素を調べ、代わりになる食品を調べる。好きな食品でもとりすぎに注意する食品がないか調べる (P119)</li> <li>・市販のサラダの成分表と、その中の緑黄色・淡色野菜の量も量る (P120)</li> <li>・食品添加物がなかったら、どのような食生活になるか考える (P122)</li> <li>・近年のニュースになった食中毒について、原因や症状を調べる (P124)</li> <li>・「食事バランスガイド」の活用 (P128)</li> <li>・P131の夕食を、地域の伝統食材などを取り入れた献立になるよう工夫する。妊婦期に栄養素をより多く必要とする理由を考える (P130)</li> <li>・みそ12g、砂糖(上白糖)12g、バター12gを、それぞれ小さじ何杯分か計算する (P134)</li> <li>・魚の照り焼き (P138)</li> <li>・ほうれんそうのおひたし (P138)</li> <li>・かぶの甘酢漬け (P138)</li> <li>・野菜粥 (P138)</li> <li>・魚のムニエル (P139)</li> <li>・おにぎり (P139)</li> <li>・照り焼き (P139)</li> <li>・野菜の青ゆで (P139)</li> <li>・豚肉と青菜の丼 (P140)</li> <li>・じゃがいもとわかめのみそ汁 (P140)</li> <li>・麻婆豆腐丼 (P140)</li> <li>・トマトソースパスタ (P141)</li> <li>・ころころ野菜のスープ (P141)</li> <li>・キャベツとベーコンの Pasta (P141)</li> <li>・きゅうりの酢の物 (P142)</li> <li>・にんじんのポタージュ (P142)</li> <li>・にんじんときこのごいちめ煮 (P142)</li> <li>・キャベツとベーコンの洋風煮物 (P142)</li> <li>・野菜のソテー (P143)</li> <li>・じゃがいものリン風 (P143)</li> <li>・ひじきとだいずの煮物 (P143)</li> <li>・なすとトマトの中華風あえ物 (P143)</li> <li>・赤飯 (P144)</li> <li>・魚のホイル包み蒸し (P144)</li> <li>・青菜ときのこの煮びたし (P145)</li> <li>・かきたま汁 (P145)</li> <li>・桜餅 (P145)</li> <li>・いりどり (P145)</li> <li>・とり肉の香辛焼き (P146)</li> <li>・サラダ (P146)</li> <li>・せん切り野菜スープ (P147)</li> <li>・クレープ リンゴとバナナのソテー (P147)</li> <li>・とり肉のクリーム煮 (P147)</li> <li>・青梗肉絲 (P148)</li> <li>・棒棒鶏 (P149)</li> <li>・西紅柿蛋花湯 (P149)</li> <li>・ヨーグルトゼリー (P149)</li> <li>・麻婆豆腐 (P149)</li> <li>・食料自給率を高めるために、私たちにできることは何か、話し合う (P154)</li> <li>・食品の安全性が疑われた過去の事例と対策を調べる (P155)</li> <li>・食環境の持続可能性について、食品を扱っている企業の取り組みを調べる (P157)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色や柄のある布や紙を用意し、色や柄を考える (P165)</li> <li>・TPOに合った服装を考えよう (P166)</li> <li>・天然繊維の原料は、現在どの地域で栽培されているか調べる。化学繊維の普及にはどのような背景があったか考える (P168)</li> <li>・オーガニックコットンや化繊用コットンで「手で紡ぐ」工程を体験する (P169)</li> <li>・手持ちの服の布目を拡大鏡などで観察し、織りの種類や伸びの方向を比較する (P170)</li> <li>・吸水性を確かめる (P171)</li> <li>・就寝時や野外活動時に選んだ衣類に必要な性能を考える。衣類で皮膚に痕がついたり身体への負担について考える (P171)</li> <li>・あなたの家には機能性素材を用いた被服があるか調べる (P173)</li> <li>・界面活性剤の働きを確かめる (P176)</li> <li>・手洗いの方法を確かめる。水溶性、油性のしみ抜き方法を確かめる (P178)</li> <li>・洗剤の成分を調べる。成分のうち、洗浄性以外の働きがある添加物を調べ、添加されている理由を考える (P179)</li> <li>・衣服の形、構造、素材、縫い方、縫い代を調べる (P180)</li> <li>・自分の身体のサイズを調べる (P181)</li> <li>・ミン縫い (P184)</li> <li>・端ミシン (P184)</li> <li>・フックミシン (P184)</li> <li>・ロックミシン (P184)</li> <li>・折り伏せ縫い (P184)</li> <li>・袋縫い (P184)</li> <li>・三つ折り縫い (P184)</li> <li>・玉結び (P185)</li> <li>・玉どめ (P185)</li> <li>・ボタン付け (P185)</li> <li>・まつり縫い (P185)</li> <li>・差縫い (P185)</li> <li>・半返し縫い (P185)</li> <li>・本返し縫い (P185)</li> <li>・手島がけ (P185)</li> <li>・ボタンホール (P185)</li> <li>・リラックスウエア (P186～187)</li> <li>・ハーフパンツ (P188～189)</li> <li>・はっぴ (P190)</li> <li>・残り布や古着の布を利用して、小物を作ろう (P191)</li> <li>・染織工芸品・服飾工芸品調べ (P193)</li> <li>・浴衣の量み方 (P193)</li> <li>・浴衣を着る (P194)</li> <li>・民族衣装を分析する (P195)</li> <li>・服購入から消費までの行動を見直そう。 (P197)</li> <li>・洗濯機・縫い針を多用しない方法を考え、環境に配慮した生活を工夫する (P198)</li> <li>・ユニバーサルデザインの裾履に求められることは何か考える (P199)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間取りの変化の1と3の違いを考える。キッチンの配置について、それぞれのメリット・デメリットを挙げる (P203)</li> <li>・平面図から空間や生活を読み取り、考える。物件情報を読み取り、考える (P205)</li> <li>・同じ場所に居住し続けるメリット・デメリットを考えよう (P206)</li> <li>・バリアフリーのポイントチェック (P208)</li> <li>・あなたの住居を調べる (P208)</li> <li>・駅や公共施設のハードル化を調べよう (P209)</li> <li>・あなたが長く過ごす場所は、家具などの転倒・落下対策をしているか調べる (P210)</li> <li>・住居内の事故の例を見て、考える (P211)</li> <li>・校舎の中の、暑い・寒いと感じる部屋、通風や騒音の問題がある場所の改善策を考える (P213)</li> <li>・昔の掃除方法と効果 (P214)</li> <li>・気候風土に合った住居・伝統的な住居調べ (P216)</li> <li>・インテリア・デコレーションを工夫する (P219)</li> <li>・校舎をコンピュータでその活用方法を考える (P222)</li> <li>・シェアハウジングのメリット・デメリットを話し合う (P224)</li> <li>・あなたの住む地域の課題を1つ挙げ、高校生の立場からまちづくりに参画する方法を考え、できることから取り組む (P225)</li> </ul>
(63)	(40)	(15)

ア 食生活の科学と文化	イ 衣生活の科学と文化	ウ 住生活の科学と文化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたのBMIは？ (P90)</li> <li>・さまざまな「こ」食 (P92)</li> <li>・食生活の変化を考えてみよう (P92)</li> <li>・身のまわりの油脂を探そう (P101)</li> <li>・フットケミカルを探そう (P105)</li> <li>・スーパーで生鮮食品の表示を見比べてみる (P108)</li> <li>・加工食品の表示を見る (P109)</li> <li>・必要なエネルギーを調べる (P112)</li> <li>・食事バランスガイドを見てみる (P114)</li> <li>・自分なりの献立を考える (P116)</li> <li>・だしをとる (P120)</li> <li>・魚をさばく (P121)</li> <li>・ごはん (P122)</li> <li>・おむすび (P122)</li> <li>・おかゆ (P122)</li> <li>・炊き込みごはん (P123)</li> <li>・三色丼 (P123)</li> <li>・トマトソースパスタ (P124)</li> <li>・ナンゴレン (P124)</li> <li>・余りものを活用する (P124)</li> <li>・餃子 (P125)</li> <li>・水餃子をつくらう (P125)</li> <li>・麻婆豆腐 (P125)</li> <li>・鮭の照り焼き (P126)</li> <li>・鶏の唐揚げ (P126)</li> <li>・煮込みハンバーグ (P127)</li> <li>・ゴーヤチャンプルー (P127)</li> <li>・卵焼き (P128)</li> <li>・だし巻き卵 (P128)</li> <li>・ゆでたまご (P128)</li> <li>・温野菜 (P129)</li> <li>・ほうれん草のごま和え (P129)</li> <li>・なすのみそ田楽 (P130)</li> <li>・きんぴらごぼう (P130)</li> <li>・きゅうりの漬漬け (P130)</li> <li>・かぼちゃの煮物 (P131)</li> <li>・生野菜とアップルソース (P131)</li> <li>・ポトフライ (P131)</li> <li>・カッテージチーズをつくる (P131)</li> <li>・すまし汁(春、夏、秋、冬) (P132)</li> <li>・豆腐とわかめのみそ汁 (P133)</li> <li>・ミネストローネ (P133)</li> <li>・粟米湯 (P133)</li> <li>・もつとみそ汁を楽しむ (P133)</li> <li>・白玉あんみつ (P134)</li> <li>・チョコチップスコーン (P134)</li> <li>・ハインアッフルシャーベット (P134)</li> <li>・牛乳豆腐 (P134)</li> <li>・抹茶 (P135)</li> <li>・抹茶 (P135)</li> <li>・麦茶 (P135)</li> <li>・料理に合わせた飲み物を楽しむ (P135)</li> <li>・五目印子スープ (P136)</li> <li>・使い切りマヨネーズ うずらの卵で作る (P138)</li> <li>・使い切りマヨネーズ 豆乳を使う (P138)</li> <li>・フレンチドレッシングをつくる (P138)</li> <li>・市販のマヨネーズと比べる (P138)</li> <li>・アレルギー食材を使わず調理 (P139)</li> <li>・電子レンジを使って時間で調理 (P139)</li> <li>・高糖な食料を代替してみる (P139)</li> <li>・エコな調理にチャレンジ (P139)</li> <li>・料理を言葉で表現する (P140)</li> <li>・チェックしてみよう。環境に配慮した食生活できている？ (P142)</li> <li>・地域の食材でメニューを考える (P147)</li> <li>・世界の料理を調べる (P148)</li> <li>・食品ロスについて考える (P150)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の民族衣装を調べる (P157)</li> <li>・新しい機能をもつ繊維を探そう (P160)</li> <li>・縮みシム (P167)</li> <li>・三つ折り縫い (P167)</li> <li>・ジグザグシム (P167)</li> <li>・ロックシム (P168)</li> <li>・基準 (P168～171)</li> <li>・ワンマイルパンツ (P172～174)</li> <li>・色からファッションを考える (P175)</li> <li>・自分の衣服を調べよう (P176)</li> <li>・界面活性剤のはたらき (P179)</li> <li>・自分で洗濯してみよう (P182)</li> <li>・しみ抜きしてみよう (P183)</li> <li>・アイロンがけしてみよう (P183)</li> <li>・手洗いしてみよう (P183)</li> <li>・蒸籠い (P185)</li> <li>・まつり縫い (P185)</li> <li>・ボタンつけ (P185)</li> <li>・手ぬぐいを使ったマイバッグ (P185)</li> <li>・衣服で工夫を (P186)</li> <li>・衣服のタグから考えよう (P188)</li> <li>・ファストファッションとエシカルファッションを比較してみよう (P190)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の住まいと動物の巣の違い (P193)</li> <li>・ハザードマップを調べる (P194)</li> <li>・まちづくりを考える (P197)</li> <li>・いろいろな物件を見る (P200)</li> <li>・どちらの家に住みたい？ (P200)</li> <li>・地域のルールを探そう (P202)</li> <li>・近隣への迷惑の原因となる音の例 (P202)</li> <li>・どうやって収納する？ (P205)</li> <li>・室内の清掃、手入れをする (P205)</li> <li>・高校の跡地の利用を考える (P209)</li> <li>・世界の住まいを調べる (P211)</li> <li>・世界の住宅事情をと比較して、日本の新築信仰やそれによって起こる問題を考える (P214)</li> </ul>
(66)	(22)	(12)

ア 食生活の科学と文化	イ 衣生活の科学と文化	ウ 住生活の科学と文化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの国でよく食べられる料理か (P98)</li> <li>・世界の米料理、麺料理 (P98)</li> <li>・食生活チェック (P102)</li> <li>・共食の機会を増やす場面の検討 (P104)</li> <li>・昨日食べた食事 (P106)</li> <li>・メニューをつくる (P109)</li> <li>・ノンカロリー食品の調査 (P114)</li> <li>・旬の食材をあげる (P116)</li> <li>・調理道具の名称と利用目的 (P120)</li> <li>・魚のなべ照り焼き (P130)</li> <li>・すまし汁 (P131)</li> <li>・青菜のごまあえ (P131)</li> <li>・鶏肉のトマトソース煮込み (P132)</li> <li>・フレンチサラダ (P133)</li> <li>・マトレーヌ (P133)</li> <li>・マヨネーズソース (P133)</li> <li>・回鍋肉 (P134)</li> <li>・粟米湯 (P135)</li> <li>・納豆飯 (P135)</li> <li>・タコライス (P136)</li> <li>・フルーツヨーグルトゼリー (P136)</li> <li>・鮭とグリーンアスパラガスの豆乳クリームスパゲッティ (P137)</li> <li>・お豆のカラフルサラダ (P137)</li> <li>・ちらしずし (P138)</li> <li>・すき焼きどんぶり (P138)</li> <li>・マカロニグラタン (P139)</li> <li>・炒飯 (P139)</li> <li>・肉じゃが (P140)</li> <li>・麻婆豆腐 (P140)</li> <li>・ひじきの煮物 (P141)</li> <li>・コーンスローサラダ (P141)</li> <li>・三色野菜のナムルの調理 (P141)</li> <li>・豚汁 (P142)</li> <li>・ミネストローネ (P142)</li> <li>・桜餅 関東風 (P143)</li> <li>・桜餅 関西風 (P143)</li> <li>・しぼり出しクッキー (P143)</li> <li>・餃子 (P144)</li> <li>・麻婆ピザ (P145)</li> <li>・手打ちうどん (P145)</li> <li>・日本の食料自給率についてのワーク (P146)</li> <li>・食品ロス減少により食品自給率が上昇する理由を考える (P147)</li> <li>・フードファイティズムの事例を採す (P148)</li> <li>・エコクッキングのチェック (P149)</li> <li>・クリエイティブ・クッキング 災害用備蓄品の乾パンを使用 (P151)</li> <li>・クリエイティブ・クッキング お正月に残った餅を使用 (P151)</li> <li>・味覚の実験 うま味 (P152)</li> <li>・味覚の実験 塩味 (P152)</li> <li>・味覚の実験 酸味 (P152)</li> <li>・味覚の実験 最もおいしい (P152)</li> <li>・香料化素材の比較 (P153)</li> <li>・鹽いしを調べる (P195)</li> <li>・瓶の吹き方 (P276)</li> <li>・かつおぶしだし (P276)</li> <li>・混合だし (P276)</li> <li>・煮干しだし (P276)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節ごとの着こなしを考える (P156)</li> <li>・衣服の特徴や機能を考える (P160)</li> <li>・吸水・速乾実験 (P163)</li> <li>・感熱実験 (P163)</li> <li>・織物加工技術の確認 (P165)</li> <li>・衣服を購入するときに気にすることは何かを考える (P166)</li> <li>・界面活性剤のはたらき実験 (P169)</li> <li>・しみ抜きの方法 (P171)</li> <li>・衣服購入の際サイズ、デザイン以外に確認すること (P171)</li> <li>・衣生活のエシカルについて考える (P172)</li> <li>・激安Tシャツを題材にフェアトレードを考える (P173)</li> <li>・自分の着ている服の原産国をチェックする (P173)</li> <li>・和服について考える (P174)</li> <li>・浴衣の着付け (P176~177)</li> <li>・浴衣のたたみ方 (P177)</li> <li>・洋服と和服の違い (P178)</li> <li>・手縫い(糸通し) (P182)</li> <li>・手縫い(玉結び) (P182)</li> <li>・手縫い(玉どめ) (P182)</li> <li>・手縫い(並縫い) (P182)</li> <li>・手縫い(半返し縫い) (P182)</li> <li>・手縫い(まつり縫い) (P182)</li> <li>・手縫い(たてまつり縫い) (P182)</li> <li>・待ち針の打ち方 (P183)</li> <li>・ボタンにつけ方 (P183)</li> <li>・縫い代のしまつ(ふちかがりミシン) (P183)</li> <li>・縫い代のしまつ(二度縫い) (P183)</li> <li>・縫い代のしまつ(はしミシン) (P183)</li> <li>・縫い代のしまつ(三つ折り縫い) (P183)</li> <li>・スナップのつけ方 (P183)</li> <li>・ミンシンの使い方 (P184)</li> <li>・ハーフパンツ (P186)</li> <li>・じんべい (P188)</li> <li>・ボトル入れ (P190)</li> <li>・ランニングステッチ (P191)</li> <li>・チェーンステッチ (P191)</li> <li>・アウトラインステッチ (P191)</li> <li>・フレンチノットステッチ (P191)</li> <li>・レセーテージーステッチ (P191)</li> <li>・ブランケットステッチ (P191)</li> <li>・ロングアンドショートステッチ (P191)</li> <li>・サテンステッチ (P191)</li> <li>・コラージュで表現 (P192)</li> <li>・ジーンズをリメイク (P193)</li> <li>・和服にかかわる言い回しの意味や語源を調べる (P195)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真の家の材料を考える (P198)</li> <li>・平常時と災害時の住まいの機能を考える 住まいを失う可能性を考える (P199)</li> <li>・一足制のメリット・デメリットを考える (P200)</li> <li>・伝統的な住居の建築的工夫と暮らし方の工夫 江戸、明治、大正時代の住まいについて調べる (P201)</li> <li>・日本の住まいについて (P203)</li> <li>・高校卒業後の住まいについて考える (P204)</li> <li>・平面図に家具を書き込む (P207)</li> <li>・動線計画、家具の配置、家族の暮らしを考える (P207)</li> <li>・室内環境に関するワーク (P208)</li> <li>・住まいの管理について考える (P211)</li> <li>・室内を改善する工夫を考える (P211)</li> <li>・校内、街中の安全点検ワーク (P212)</li> <li>・自宅以外で被災した場合を考える (P215)</li> <li>・古民家の再生を考える (P216)</li> <li>・住環境、街づくり、法伴について考える (P219)</li> <li>・ひとり暮らしのレイアウトとコーディネートを考える (P220)</li> <li>・バリアフリーを考える (P221)</li> <li>・家の中の安全対策 (P222)</li> <li>・非常持ち出し袋を準備しよう (P222)</li> <li>・ローリングストックの方法 (P222)</li> <li>・ポリ袋炊飯の調理 (P222)</li> <li>・新聞紙簡易スリッパの製作 (P222)</li> <li>・非常時のトイレの準備 (P222)</li> <li>・地域の避難所での高校生役、できることを考える (P222)</li> </ul>

(56)

(45)

(24)

(125)

ア 食生活の科学と文化	イ 衣生活の科学と文化	ウ 住生活の科学と文化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活の中の関心 (P99)</li> <li>・食事の摂りかたで気になること (P100)</li> <li>・朝食の摂り方 (P101)</li> <li>・アレルギーマーク表示の加工食品 (P103)</li> <li>・食品、主な栄養素とそのはたらきの関係 (P106)</li> <li>・たんぱく質がどれくらい含まれているか (P107)</li> <li>・たんぱく質の補足効果をアミノ酸価から考える (P107)</li> <li>・マヨネーズをつくる (P109)</li> <li>・バターとマヨネーズの油脂量について調べる (P109)</li> <li>・ぬか漬けについて考える (P110)</li> <li>・じゃがいもをすって、でんぷんと食物繊維を取り出す (P110)</li> <li>・健康食品のパッケージから情報を調べる (P114)</li> <li>・健康食品について考える (P115)</li> <li>・せんべいの食べ比べ (P116)</li> <li>・おいしいと感じたときの経験 (P117)</li> <li>・肉を切った後のまな板について考える (P119)</li> <li>・じゃがいもを切ってみよう (P120)</li> <li>・だしをとってみよう (P120)</li> <li>・昆布かつおの比較 (P121)</li> <li>・三色どんぶり (P122)</li> <li>・鯖缶の鯖缶風どんぶり (P123)</li> <li>・肉豆腐どんぶり (P123)</li> <li>・野菜の肉巻き焼き (P124)</li> <li>・れんこんのおかか炒め (P124)</li> <li>・ほうれん草のごま和え (P124)</li> <li>・ひじきの煮物 (P125)</li> <li>・きんぴらごぼう (P125)</li> <li>・さつまいもの甘煮 (P125)</li> <li>・ナムル3種 (P125)</li> <li>・和風ハンバーグ (P127)</li> <li>・こまつなの煮びたし (P127)</li> <li>・キャベツときゅうりの塩もみ (P127)</li> <li>・豆腐とみつばのすまし汁 (P127)</li> <li>・餃子 (P128)</li> <li>・餃子の皮の作り方 (P128)</li> <li>・ミートソース (P129)</li> <li>・エコクッキング (P129)</li> <li>・舎に豆腐 (P130)</li> <li>・ひらろア (P130)</li> <li>・月見団子 (P131)</li> <li>・ゆべし (P131)</li> <li>・ブラウニー (P131)</li> <li>・ロールスポンジケーキ (P131)</li> <li>・紅白なます (P133)</li> <li>・栗きんとん (P133)</li> <li>・ごまめ (P133)</li> <li>・たたきごぼう (P133)</li> <li>・何を考えで食品を選択しているか (P134)</li> <li>・栄養価の計算をしてみよう (P135)</li> <li>・コンビニ弁当について考える (P136)</li> <li>・ライフステージ別の献立を考える (P136)</li> <li>・食品群別摂取量について考える (P137)</li> <li>・日本の伝統食を考える (P142)</li> <li>・バジロン (P146)</li> <li>・ピッツァ・マルゲリータ (P146)</li> <li>・和食のよさと改善点 (P147)</li> <li>・温州みかんについて考える (P148)</li> <li>・植物工場について考える (P148)</li> <li>・クリスマスケーキの大量廃棄を考える (P129)</li> <li>・学習をまとめてみよう (P130)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣生活の中の関心 (P155)</li> <li>・どのようなときに被服を身につけるか (P156)</li> <li>・職場での制服について考える (P159)</li> <li>・通学用の衣服の繊維について考える (P160)</li> <li>・通学用衣服の実験 (P165)</li> <li>・衣生活性剤の実験 (P165)</li> <li>・室内干しでおかないと宣伝されている洗剤がある理由 洗剤の選択 (P166)</li> <li>・商業洗濯について考える (P147)</li> <li>・衣服の購入時に重視すること (P168)</li> <li>・品質表示について考える (P171)</li> <li>・それぞれの地域の地理的・文化的な特徴 (P172)</li> <li>・被服の作成について考える (P176)</li> <li>・ほころび直し (P179)</li> <li>・まつり縫い (P179)</li> <li>・ボタンつけ (P179)</li> <li>・ルーピングケース (P180)</li> <li>・ペンホルダー (P181)</li> <li>・ステッチ バックステッチ (P181)</li> <li>・ステッチ チェーンステッチ (P181)</li> <li>・ハーフパンツ (P182)</li> <li>・はっぴ (P183)</li> <li>・流行の被服が安く買えるようになった理由 (P184)</li> <li>・衣服洗濯についてイラストを見て考えよう (P187)</li> <li>・学習をまとめてみよう (P189)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住生活の中の関心 (P191)</li> <li>・人間らしい住まいの機能 (P192)</li> <li>・住面積水準について考える (P193)</li> <li>・一人暮らしの間取り (P198)</li> <li>・住まいの工夫を科学的に考える (P200)</li> <li>・年齢によって家庭内事故死亡者の原因が異なるから、安全を考える (P202)</li> <li>・地域のハザードマップから考える (P204)</li> <li>・耐震補強工事の費用を考える (P205)</li> <li>・避難場所の運営について考える (P206)</li> <li>・「持続可能な住生活」について考える (P208)</li> <li>・日本の住宅政策について考える (P210)</li> <li>・学習をまとめてみよう (P213)</li> </ul>
(60)	(23)	(12)

ア 食生活の科学と文化	イ 衣生活の科学と文化	ウ 住生活の科学と文化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ご食」チェック (P142)</li> <li>・食生活振り返り (P144)</li> <li>・おせち料理で食べる食材を食べる理由(いわれ) (P146)</li> <li>・食生活をイメージ (P150)</li> <li>・栄養価計算 (P153)</li> <li>・食生活のイメージ (P155)</li> <li>・炭水化物について (P156)</li> <li>・フォー-ガー (P158)</li> <li>・フォーのゆで上がり調べよう (P158)</li> <li>・和風フォー (P158)</li> <li>・α化米の食べ比べ (P159)</li> <li>・α化米 (P159)</li> <li>・筋質の量を調べよう (P160)</li> <li>・カラフルサラダ (P162)</li> <li>・ビネグレットソース (P162)</li> <li>・マヨネーズソース (P162)</li> <li>・ドレッシングの原材料を調べる (P162)</li> <li>・フライドポテト (P163)</li> <li>・フライドポテトについて考える (P163)</li> <li>・貧血気味のときに何を食べるか考えよう (P164)</li> <li>・ブルコギ (P166)</li> <li>・肉を焼く時の工夫 (P166)</li> <li>・煮魚 (P167)</li> <li>・魚について考える (P167)</li> <li>・カルシウムについて考える (P168)</li> <li>・ムース風ヨーグルトゼリー (P170)</li> <li>・カルシウムを多く含む食品を調べる (P170)</li> <li>・木綿豆腐のみたらし団子 (P170)</li> <li>・ニューナイ豆腐 (P170)</li> <li>・卵液について考えてみよう (P171)</li> <li>・カスタードプリン (P171)</li> <li>・ビタミンCについて考える (P172)</li> <li>・野菜と豚肉のしき焼き皿 (P174)</li> <li>・ビタミンを効率よくとれる食べ方 (P174)</li> <li>・フルーツポンチ (P175)</li> <li>・フルーツポンチとビタミンCについて考える (P175)</li> <li>・清涼飲料に含まれる糖分を角砂糖に換算してみよう (P176)</li> <li>・おにぎり (P178)</li> <li>・干草漬け (P178)</li> <li>・日本の伝統的な加工食品を調べよう (P178)</li> <li>・緑茶 (P178)</li> <li>・紅茶ゼリー (P179)</li> <li>・甘味料の違い (P179)</li> <li>・異い物のポイント (P180)</li> <li>・人工オレンジジュースを作ろう (P182)</li> <li>・ビザハーティーの食材選び (P183)</li> <li>・食品の安全について考える (P184)</li> <li>・環境と食生活について考える (P186)</li> <li>・食事計画 (P188)</li> <li>・献立づくり (P190)</li> <li>・調理の安全を考える (P192)</li> <li>・こんぶだし (P198)</li> <li>・かつおだし (P198)</li> <li>・煮干しだし (P198)</li> <li>・とうもろこしご飯 (P201)</li> <li>・炒り豆腐 (P201)</li> <li>・もやしの甘酢和え (P201)</li> <li>・吉野鶏のすまし汁 (P201)</li> <li>・たけのこご飯 (P201)</li> <li>・枝豆ご飯 (P201)</li> <li>・にんじん入りパスタライズ (P203)</li> <li>・チキンフリカッセ (P203)</li> <li>・ひじきのサラダ (P203)</li> <li>・魚のオイル焼き (P205)</li> <li>・青菜のおひたし (P205)</li> <li>・けんちん汁 (P205)</li> <li>・さば缶のトマトソース (P207)</li> <li>・切り干しだいこんのサラダ (P207)</li> <li>・高野豆腐のコンソメスープ (P207)</li> <li>・薄切り肉の酢豚風 (P209)</li> <li>・こまつなの白いスープ (P209)</li> <li>・食生活のマネジメント (P210)</li> <li>・バッククッキング ご飯を炊く(口絵 P17)</li> <li>・バッククッキング ツナ缶じゃが煮(口絵 P17)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣生活の現状と課題 (P214)</li> <li>・日本や世界の民族衣装 (P216)</li> <li>・浴衣を着てみよう (P219)</li> <li>・ドレスコードを考える (P220)</li> <li>・被服素材と性能を考える (P224)</li> <li>・被服の安全を考える (P226)</li> <li>・被服の管理を考える (P228)</li> <li>・資源としての被服を考える (P210)</li> <li>・衣服の3Rを考える (P231)</li> <li>・並縫い (P231)</li> <li>・返し縫い (P231)</li> <li>・まつり縫い (P231)</li> <li>・千鳥がけ (P231)</li> <li>・ボタンをつける (P231)</li> <li>・衣類を選ぶ基準について考えよう (P232～233)</li> <li>・縫製の名前 (P234)</li> <li>・ミンシンの扱い方 (P237)</li> <li>・縫いしろのしまつ 捨てミンシ (P237)</li> <li>・縫いしろのしまつ 端ミンシ (P237)</li> <li>・縫いしろのしまつ ジグザグミンシ (P237)</li> <li>・縫いしろのしまつ ロックミンシ (P237)</li> <li>・縫いしろのしまつ 三つ折り縫い (P237)</li> <li>・縫いしろのしまつ 袋縫い (P237)</li> <li>・縫いしろのしまつ 折りふせ縫い (P237)</li> <li>・ハーフハンツ (P238～239)</li> <li>・ほつび (P240～241)</li> <li>・じんべい (P242～243)</li> <li>・探してみよう (P244)</li> <li>・衣生活のマネジメント (P246)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの機能を考える (P250)</li> <li>・住文化の継承・創造を考える (P252)</li> <li>・和室と畳の関係 (P253)</li> <li>・間取りについて考える (P256)</li> <li>・理想の住空間を探ろう (P257)</li> <li>・近所トラブルを考える (P258)</li> <li>・家庭内事故死について考える (P260)</li> <li>・持続可能な住居を考える (P262)</li> <li>・持続可能な住環境と地域社会について考える (P264)</li> <li>・家を借りる計画を立ててみよう (P266～267)</li> <li>・住生活のマネジメント (P268)</li> </ul>

ア 食生活の科学と文化	イ 衣生活の科学と文化	ウ 住生活の科学と文化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたの食生活を確認してみよう (P84)</li> <li>・あなたが昨日食べたものを書き出してみよう (P85)</li> <li>・自分のBMIを計算してみよう (P86)</li> <li>・自分に近い考え方はあるだろうか (P87)</li> <li>・1965年、1980年ごろは、どんな食事をしていただろうか (P88)</li> <li>・食料自給率を高めるために、私たちはどのような取り組みができるだろうか (P90)</li> <li>・世界にはどのような米料理があるだろうか (P92)</li> <li>・地域で雑穀がどのように違うか、その理由も調べてみよう (P93)</li> <li>・外国の人を招待するパーティーを企画しよう (P95)</li> <li>・てまり寿司 (P95)</li> <li>・お好み焼き (P95)</li> <li>・豆腐入り白玉だんご (P95)</li> <li>・次の成分を、人体に含まれる割合が多い順に並べよう (P96)</li> <li>・じゃがいもの加工品を調べてみよう (P99)</li> <li>・香組しよう症を予防するためにはどのようにすればよいか (P105)</li> <li>・どのような食品にどのようなビタミンが添加されているか調べてみよう (P106)</li> <li>・おいしく感じる食塩濃度を確認しよう (P108)</li> <li>・たんぱく質分解酵素に関する実験をしよう (P108)</li> <li>・ビタミンCの検出をしよう (P109)</li> <li>・各社の製品の栄養成分表示を比較してみよう (P110)</li> <li>・いろいろな種類の香辛料を調べてみよう (P110)</li> <li>・目的ごとに必要な食事を調べてみよう (P113)</li> <li>・食事を提案しよう (P113)</li> <li>・昨日食べた加工食品を書き出してみよう (P114)</li> <li>・食品についてマークを探して意味を確認してみよう (P115)</li> <li>・どんなものを食べたか栄養バランスがよくなるか、考えてみよう (P118)</li> <li>・家族の食事の工夫を考えてみよう (P122)</li> <li>・昼食の献立を立ててみよう (P125)</li> <li>・実際には何gのじゃがいもを準備すればよだろうか (P126)</li> <li>・塩分濃度を計算してみよう (P127)</li> <li>・野菜のみ汁 (P130)</li> <li>・魚の銀照り焼き (P131)</li> <li>・かぶの甘酢漬け (P131)</li> <li>・青菜のおひたし (P131)</li> <li>・豆腐とわかめのすまし汁 (P131)</li> <li>・和風ドレッシング (P132)</li> <li>・中国風ドレッシング (P132)</li> <li>・さけときのこのクリーム煮 (P132)</li> <li>・とり肉ときのこのトマト煮 (P132)</li> <li>・とり肉ときのこのクリーム煮 (P133)</li> <li>・トマトのサラダ (P133)</li> <li>・スープレッドスープ (P133)</li> <li>・パプリカとツナのマリネ (P133)</li> <li>・青組肉絲 (P134)</li> <li>・麻婆豆腐 (P135)</li> <li>・涼拌素菜 (P135)</li> <li>・玉米羹 (P135)</li> <li>・洋風コンソープ (P135)</li> <li>・洋風ガティ・ナポリタン (P136)</li> <li>・ポテトサラダ (P136)</li> <li>・和風パスタ (P136)</li> <li>・ちりめんじゃこレタスの炒飯 (P137)</li> <li>・涼拌茄子 (P137)</li> <li>・豚キムチ炒飯 (P137)</li> <li>・タコライス丼 (P138)</li> <li>・ヨーグルトサラダ (P138)</li> <li>・そばろ丼 (P138)</li> <li>・野菜の豚肉巻き (P139)</li> <li>・チンゲン菜の塩こんぶあえ (P139)</li> <li>・かぼちゃの茶きんサラダ (P139)</li> <li>・ひじきの煮つけ (P140)</li> <li>・きゅうりとわかめの酢の物 (P140)</li> <li>・きのこのホイル焼き (P140)</li> <li>・さつまいもときやいんげんのきんぴら (P141)</li> <li>・けんちん汁 (P141)</li> <li>・ミネストローネ (P141)</li> <li>・ロールスポンジケーキ (P142)</li> <li>・米粉のブラウニー (P142)</li> <li>・フルーツ大福 (P143)</li> <li>・納豆羹 (P143)</li> <li>・チョコハンカチョコタ (P143)</li> <li>・どぎ (P144)</li> <li>・チキンのガランティーヌ (P144)</li> <li>・ちらし寿司 (P145)</li> <li>・焼きぎょうざ (P145)</li> <li>・栗きんとん (P147)</li> <li>・餅つき (P147)</li> <li>・かまぼこの飾り切り (P147)</li> <li>・紅白なます (P147)</li> <li>・いりどり (P147)</li> <li>・チキンピラフ (P148)</li> <li>・混合だし (見返し⑤)</li> <li>・煮干しだし (見返し⑤)</li> <li>・ブイヨン (見返し⑤)</li> <li>・アジの三枚おろし (見返し⑥)</li> <li>・いわしの手開き (見返し⑥)</li> <li>・いかのさばき (見返し⑥)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が持っている被服の枚数を履種(アイテム)ごとに分けて数えてみよう (P150)</li> <li>・衣生活の自立度をチェックしてみよう (P151)</li> <li>・自分が嫌いで、おどろくと感じる温度はどれくらいだろうか、考えてみよう (P152)</li> <li>・自分や家族の被服について、素材や生産国の表示を調べてみよう (P157)</li> <li>・どうして、布が被服の材料として使われているのだろうか、考えてみよう (P160)</li> <li>・布地の吸水性(ハイレック法) (P160)</li> <li>・被服の表示方法から洗濯方法を調べてみよう (P163)</li> <li>・洗濯表示の例を見て、含まれている界面活性剤と助剤を調べてみよう (P165)</li> <li>・界面活性剤の働きを確かめよう (P165)</li> <li>・皮膚から失われる水分を調べてみよう (P166)</li> <li>・においと蒸気方で繊維を見分けてみよう (P166)</li> <li>・製織りにチャレンジしよう (P167)</li> <li>・被服の手入れや保管のために使われる溶剤、薬剤について調べて使ってみよう (P168)</li> <li>・糸の布で数寄屋染をつくらう (P169)</li> <li>・浴衣の着姿にチャレンジしてみよう (P171)</li> <li>・今後の被服はどうなるか考えてみよう (P173)</li> <li>・ダイヤモンドラングで優先順位を考へよう (P175)</li> <li>・着ている被服のパーツの名前を調べてみよう (P177)</li> <li>・いろいろな動作による寸法を測り、自然立位のときの寸法と比較してみよう (P179)</li> <li>・玉結び (P182)</li> <li>・玉止め (P182)</li> <li>・袋縫い (P182)</li> <li>・本返し縫い (P182)</li> <li>・半返し縫い (P182)</li> <li>・まつり縫い (P182)</li> <li>・らどりがけ (P182)</li> <li>・ボタンのつけ方 (P182)</li> <li>・スナップ・ホックのつけ方 (P182)</li> <li>・ミンシンの縫い方 (P183)</li> <li>・ジグザグミシン (P183)</li> <li>・ロックミシン (P183)</li> <li>・三ツ折り縫ミシン (P183)</li> <li>・折り伏せ縫い (P183)</li> <li>・袋縫い (P183)</li> <li>・はっぴ (P184～185)</li> <li>・ハーフパンツ (P186～187)</li> <li>・Vネックシャツ (P188～191)</li> <li>・アウトラインステッチ (P191)</li> <li>・チェーンステッチ (P191)</li> <li>・ストレートステッチ (P191)</li> <li>・ランニングステッチ (P191)</li> <li>・クロスステッチ (P191)</li> <li>・サテンステッチ (P191)</li> <li>・ファスターつきボーテ (P192)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちは、どんな家に帰りたいと思うだろうか (P196)</li> <li>・日本の住文化について調べてみよう (P196)</li> <li>・一人暮らしをするとしたら、どのような部屋に住みたいだろうか (P200)</li> <li>・インターネットで物件情報を調べてみよう (P201)</li> <li>・引っ越しをして暮らし始めることを想像して、①～④を考えてみよう (P201)</li> <li>・Aさんの家(3LDK)のインテリアコーディネートしてみよう (P203)</li> <li>・自分の家のメンテナンスがどのようにおこなわれているか考えてみよう (P204)</li> <li>・10年後、あなたにたれとどのような住まいに暮らしたいか (P207)</li> <li>・種かく住まう工夫、涼しく住まう工夫について考えてみよう (P209)</li> <li>・昔の地名を調べてみよう (P210)</li> <li>・「ナッジ」を調べて、私たちの住まい方に活用できないか考えてみよう (P212)</li> <li>・住まいの健康度を評価してみよう (P216)</li> </ul>

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方(本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	家庭総合 自立・共生・創造	有	P56～57 本文 P62 本文 P63 トライ P64～65 トライ P73 トライ P79 トライ P82 トライ P87 本文 P88～89 トライ P91 トライ P93 コラム P99 コラム	子どもと関わる 子どもとの触れ合いから学ぶ 子どもとの触れ合いから学ぶ 子どもとの触れ合いから学ぶ 子どもとのかかわり権利と福祉 超高齢・大衆長寿社会の到来 高齢期の心身の特徴 高齢者の自立を支える 高齢者の自立を支える これからの超高齢社会 私のキャリア 共に生きる	・子どもとの関わり方について説明している。 ・触れ合いから得られるもの、子どもと触れ合う機会について説明している。 ・絵本の読み聞かせ、折り紙での遊びについて説明している。 ・子どもとの触れ合い方について具体的に説明している。 ・地域の子どもと子育てについて説明している。 ・身近な高齢者のインタビューについて説明している。 ・地域の高齢者のボランティア活動について示している。 ・「がんばらない介護生活」5原則について説明している。 ・介助の方法について説明している。 ・高齢者と共に地域社会をつくることを説明している。 ・介護支援専門員について説明している。(高齢者に関わる仕事) ・地域交流の取り組みとして、「子ども食堂」について説明している。
教団	702	未来へつなぐ 家庭総合 365	有	P34 本文 P42～43 本文 P44～47 本文 P57 本文 P57 本文 P63 本文 P66～67 本文 P66 トライ P67 コラム P67 トライ P71 本文 P72 実習 P74 本文	子どもはどう生まれ育つ？ 子どもとどうかかわろう？ 子どもとどうかかわろう？ これからの子育てとは？ これからの子育てとは？ 高齢期ってどういう時期？ 高齢者とふれ合ってみよう 高齢者とふれ合ってみよう 高齢者とふれ合ってみよう 高齢者とふれ合ってみよう 高齢化する日本を生きる 高齢化する日本を生きる 高齢化する日本を生きる	・社会的なかかわりを通した発達について説明している。 ・乳児のお世話の仕方について説明している。 ・保育所などでの乳幼児の触れ合いについて説明している。 ・大学キャンパスを利用した子育て支援を説明している。 ・地域の子どもと子育てについて説明している。取り組み例として子ども食堂を説明している。 ・認知症の人への接し方について説明している。 ・高齢者との触れ合いかたについて説明している。 ・傾聴ボランティアについて説明している。 ・コミュニケーションの注意点など高齢者との交流の仕方などを説明している。 ・施設見学の意味や方法を説明している。 ・高齢者との触れ合いかたについて説明している。 ・介助の方法について説明している。 ・地域のボランティアを受け入れている福祉施設や高齢者との対話について説明している。
実教	703	家庭総合	有	P22 コラム P55 アクティビティ P58～59 本文 P59 本文 P64 本文 P65 本文 P70 本文 P77 コラム P77 コラム P78 コラム P80 本文 P80 本文 P80 コラム P81 本文 P82～83 本文 P83 本文 P89 コラム P92 本文 P93 本文 P94 本文	ライフキャリア 子どもの生活 子どもをほくくむ 子どもをほくくむ 子どものための社会福祉 子どものための社会福祉 高齢社会に生きる 高齢者を知る 高齢者を知る 高齢者の自立を支える 高齢者の自立を支える 高齢者の自立を支える 高齢者の自立を支える 高齢者の自立を支える 共生社会を生きる 共生社会を生きる 共生社会を生きる 共生社会を生きる	・愛知県長久手市の多世代交流について説明している。 ・絵本の読み聞かせを用いて説明している。 ・保育実習について説明している。 ・手袋シアターを用いて説明している。 ・スキンシップ遊びについて説明している。 ・パネルシアターについて説明している。 ・高齢者とのかかわりについて説明している。 ・ロコモ体操を用いて説明している。 ・大田区の高齢者の見守りについて説明している。 ・認知症の方への接し方をワークで示している。 ・食事の介助について説明している。 ・高齢者へのかかわり方を説明している。 ・衣服の着脱の介助について説明している。 ・ベッドからの移動、車椅子での移動について説明している。 ・認知症の方の特徴をふまえ、接し方を説明している。 ・地域での子どもの見守りについて説明している。 ・認知症の人とのかかわり方について説明している。 ・高齢者や民生委員、児童委員へのインタビューについて示している。 ・高齢者の特徴、サポートの仕方について説明している。
開隆堂	704	家庭総合 明日の生活を築く	有	P6 写真 P62 本文 P63～65 本文・写真 P89 キャリア P90 本文 P90 本文 P91 本文 P91 本文 P91 本文 P91 本文	生活を創る力 子どもとかわる 子どもとかわる 高齢者の生活と福祉福祉 高齢者の生活を支える 高齢者の生活を支える 高齢者の生活を支える 高齢者の生活を支える 高齢者の生活を支える 高齢者の生活を支える	・高齢者の介護、看護、支援について示している。 ・子どもとどうやっとかかわるのかについて説明している。 ・子どもとのふれあいについて説明している。 ・ソーシャルワーカーについて説明している。(高齢者に関わる仕事) ・高齢者とのかかわり方について説明している。 ・高齢者との交流の仕方について示している。 ・食事の介助について説明している。 ・衣服の着脱の介助について説明している。 ・車いすの移乗について説明している。 ・車いすでの移動について説明している。

12

13

19

10



「別紙2-3」 【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 d 発展的な内容の概要】 (家庭総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	家庭総合 自立・共生・創造	無			
教図	702	未来へつなぐ 家庭総合 365	無			
実教	703	家庭総合	無			
開隆堂	704	家庭総合 明日の生活を築く	無			
大修館	705	クリエイティブ・リビング Creative Living 『家庭総合』で生活をつくろう	無			
第一	706	高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる	無			



「別紙2-4」 【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 防災や自然災害の扱い】 (家庭総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
大修館	705	クリエイティブ・リビング Creative Living 『家庭総合』で生活をつくらう	有	P15 本文 P91 本文 P93 表 P159 本文 P186 本文 P187 資料 P206～207 本文・写真 P207 資料 P226 本文 P227 図 P260 本文 P260 本文 P261 本文 P261 本文 口絵 P15～16 口絵 P17	防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災 防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の中で、防災に関する職業を紹介している。</li> <li>・共生社会の例として、被災地の若者支援について説明している。</li> <li>・リスクをもたらす生活問題の例として、避難所や防災拠点の機能整備が示されている。</li> <li>・災害食として、α化米の調理方法を説明している。</li> <li>・非常時に配慮した食行動について説明している。</li> <li>・食品ロスしない備蓄方法として、ローリングストック法を説明している。</li> <li>・災害時の食事について、保存食材を使用したメニューを示している。</li> <li>・災害時も食事への心がけとして、ローリングストック法を説明している。</li> <li>・災害時の備えとして、非常持ち出し袋の被服の準備について説明している。</li> <li>・災害時の被服の備えの一覧を示している。</li> <li>・住まいの防災・減災の例として、耐震、免震、制震の建物について説明している。</li> <li>・ハザードマップについて説明している。</li> <li>・耐震・免震・制震構造について説明している。</li> <li>・地震に対する住まいの防災・減災の例をイラストを用いて説明している。</li> <li>・災害の備えを、表やイラストを使って説明している。</li> <li>・避難のタイミングやポリ袋調理について説明している。</li> </ul>
第一	706	高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる	有	巻頭 P4～5 P40 インフォメーション P77 図 P99 コラム P148 本文 P148 インフォメーション P205 コラム P210～211 本文 P210 写真 P210 図 P210 図 綴込 P1～4	防災 防災 防災 防災 防災 防災 自然災害 自然災害 自然災害 自然災害 防災 防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策についてホームプロジェクトの一例を示している。</li> <li>・防災用品として液体ミルクについて説明している。</li> <li>・避難場所の案内板の表示例について示している。</li> <li>・災害時の非常食としてα化米を示している。</li> <li>・災害食づくりについてホームプロジェクトの一例を示している。</li> <li>・ローリングストック法について説明している。</li> <li>・熊本地震における被害状況について示している。</li> <li>・自然災害と住まいについて説明している。</li> <li>・自然災害の事例を示している。</li> <li>・ハザードマップの例を示している。</li> <li>・災害被害の軽減のためチェックリストが示されている。</li> <li>・減災・防災ハンドブックについて文章、写真で示している。</li> </ul>

「別紙2-5」 【持続可能な社会づくりの扱い】 (家庭総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方(本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	家庭総合 自立・共生・創造	有	見返し P1~2 本文 P98 本文 P154~155 本文 P156~157 本文 P196~197 本文 P198~199 本文 P221~223 本文 P225 本文 P227 本文 P251 コラム P251 コラム P252~259 本文 P267 TRY	家庭科の学び方 共に生き、共に支える 食生活をつくる 食生活をつくる 衣生活をつくる 衣生活をつくる 住生活をつくる 住生活をつくる 住生活をつくる 経済生活をつくる営む 経済生活をつくる営む 持続可能な生活を営む これからの生活を創造する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs17の目標と家庭科各分野との関係を示している。家庭科を学んで持続可能な社会をつくる暮らしの担い手になることを説明している。</li> <li>・地球の気候や風土などの自然環境と調和し、健康で快適に生活できるようにする環境共生について示している。</li> <li>・食料自給率、フード・マイレージと地産地消、食品のトレーサビリティについて説明している。</li> <li>・食品ロス、フードバンク、フェアトレードについて説明し、生産から廃棄に至る一連のサイクルについて理解を深めることを示している。</li> <li>・被服の生産と実態を踏まえ、資源や環境への配慮について説明している。</li> <li>・環境負荷の軽減、エシカルファッション、ユニバーサルデザインの被服について説明している。</li> <li>・日本に住宅政策の変遷や、住居の造り方の例としてスケルトン・インフィル方式を説明し、環境とエネルギーについて示している。</li> <li>・暮らしやすい住環境とまちづくりへの参画について示している。</li> <li>・まちづくりの事例として、陸前高田の復興のまちづくりについて説明している。</li> <li>・高校生によるスーパーでの、持続可能な運営の取り組みについて示している。</li> <li>・持続可能性を重視したスマートフォンについて説明している。</li> <li>・大量消費の限界、これまでの世界と日本の取り組み、一人一人の力で社会を動かす(毎日の生活を持続可能にする、資源利用の削減、エシカル消費の実践、社会的活動の実践と支援)を説明している。</li> <li>・主体者として持続可能な社会を実現していくことを示している。</li> </ul>
教団	702	未来へつなぐ 家庭総合 365	有	口絵 P7~8 各章の扉 P55 本文 P81 本文 P189 本文 P208~209 本文 P245 本文 P247~256 本文	世界を変える17の目標 SDGsと家庭科 子どもの生活と保育 共生社会と福祉 衣生活と健康 住生活と住環境 消費生活と意思決定 持続可能なライフスタイルと環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsは何か説明している。</li> <li>・これから学ぶ内容とSDGsのつながりを示している。</li> <li>・子ども・子育てにかかわるSDGsのターゲットと指数について説明している。</li> <li>・公的年金制度について、持続可能な年金制度への見直しが議論されていることが説明されている。</li> <li>・大量生産・大量消費・大量廃棄のサイクルの見直しについて示している。</li> <li>・人口減少と住まい、持続可能な住み方として古民家のリフォームや再生住宅について説明している。</li> <li>・消費者一人ひとりの積極的な消費行動が、持続可能な社会へとつながっていることを説明している。</li> <li>・暮らしと環境問題、社会の取り組み、持続可能な消費、行動し、発信しよう、プラスチックごみ、エシカル消費を説明している。コラムでつばさ総合高校の環境活動や地域の活動などについて示している。</li> </ul>
実教	703	家庭総合	有	巻頭 P4~5・P1 本文 巻頭 P5・P1 本文 P149 本文 P172~173 本文 P216~217 本文 P218~219 本文 P218 資料 P236 本文 P238~239 本文 P240~241 本文 P242~243 本文 P242 コラム P252~253 本文	SDGsと家庭科 SDGsと家庭科 食生活をつくる 衣生活をつくる 住生活をつくる 住生活をつくる 住生活をつくる 消費行動を考える 消費行動を考える 消費行動を考える 消費行動を考える 消費行動を考える 消費行動を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs17の目標と家庭科各分野との関係を示している。</li> <li>・高校生によるチョコレートプロジェクト、タビオカドリンクのストロー持参などの活動を紹介し、行動変容を示している。</li> <li>・食品ロスと環境保全への取り組みを説明している。</li> <li>・衣生活と資源・エネルギー、労働問題について、エシカル消費、ケミカルリサイクル、リサイクルマーク、ファストファッションやフェアトレードを説明している。</li> <li>・日本の住生活の現状と住宅政策の変遷と課題を通し、時代に合った適切な住まいの条件や実現に向け、地域、国、自治体ですべきことを考え、行動することを説明している。</li> <li>・住環境には物理的環境、人的環境があることや環境に配慮した住まいづくり、循環共生に向けた住まい、まちづくりの必要性が説明されている。</li> <li>・目標11と目標12のターゲットについて説明している。</li> <li>・消費者基本法に触れ、消費者の持つ力を自覚し、暮らしを安定させ、持続可能な社会づくりに参加する必要性を説明している。</li> <li>・海洋プラスチック問題、地球温暖化問題を例に持続可能な社会を構築する責任を説明している。</li> <li>・大量消費の現状に触れ、循環型社会形成推進基本法の3Rと5Rについて説明している。</li> <li>・音楽イベントや環境に配慮したサービスの例を挙げ、環境ラベルの利用やエシカル消費者の必要性を説明している。</li> <li>・SDGsと企業の社会的責任について説明している。</li> <li>・買い物をする時の選択、エシカル消費について示している。</li> </ul>





記述の内容	
性差に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図 性・年齢別単独世帯数 (P22)</li> <li>・図 男女別平均初婚年齢と夫婦の年齢差の推移 (P23)</li> <li>・図 性・年齢別未婚率の推移 (P23)</li> <li>・図 時代別に見た人の人生 (P23)</li> <li>・図 50歳時未婚率の推移 (P23)</li> <li>・コラム デートDV (P24)</li> <li>・ドメスティック・バイオレンス (P24)</li> <li>・DVの被害者、加害者、目撃者になったら(DV相談窓口) (P24)</li> <li>・図 DV被害に遭った経験 (P24)</li> <li>・コラム LGBTとSOGI (P27)</li> <li>・コラム 自分らしい進路選択を (P27)</li> <li>・図 旧民法と現行民法との比較 (P32)</li> <li>・コラム 夫婦別姓をめぐる動きと判例 戸籍の有無や婚姻制度は国により異なるが、法律で夫婦同姓を義務付けているのは日本のみである。(P35)</li> <li>・図 夫婦が仕事と家事に費やす時間の比較 (P36)</li> <li>・トライ 生活時間の国際比較 (P37)</li> <li>・図 就業時間が週60時間以上の男性雇用者の割合 (P37)</li> <li>・1960年代以降「男は仕事、女は家事・育児」という性別役割分業意識が一般化し強まっていった。(P38)</li> <li>・生物学的な性別に対して、社会的・文化的に形成される性別をジェンダーという見方が広まった。(P38)</li> <li>・女子差別撤廃条約では、「すべての人間の奪い得ない権利としての労働の権利」の確保や、雇用の場において、婚姻または母性を理由とする女子に対する差別をなくすことなどが定められている。この条約を受けて日本では男女雇用機会均等法が1986年から施行された。1997年の改正で差別禁止の範囲が拡大し、同時に、女性の保護規定は廃止された。さらに2006年の改正では男性に対する差別禁止も追加された。(P38)</li> <li>・図 ジェンダー・バイヤス (P38)</li> <li>・図 性・年齢別労働力率 (P38)</li> <li>・図 女性の労働力率の国際比較 (P38)</li> <li>・男女共同参画社会基本法は、社会のあらゆる分野の活動に男女が対等に参画することを目指して、1999年制定された。(P39)</li> <li>・図 性別役割分業意識の推移 (P39)</li> <li>・図 男女格差指数(ジェンダー・ギャップ指数)の国際比較 (P39)</li> <li>・「男は仕事、女は家事・育児」という固定的な性別役割分業意識を取り除き、「男女共に、仕事も家庭も」という意識の確立が求められる。(P40)</li> <li>・図 子どもをもって負担に感じる事 (P66)</li> <li>・図 夫の休日の家事・育児時間と第2子以降の出生状況 (P67)</li> <li>・図 育児休業取得者の割合 (P67)</li> <li>・コラム 性別による制服の違いという固定観念を見直し、誰もが抵抗なく制服を着用できるように、詰め襟・セーラー服をブレザーにする、女子がスラックスを着用できる、ネクタイやリボンが自由に選択できるなど、制服を変更する学校が現れている。(P199)</li> <li>・図 労働力率の就業形態別内訳 (P243)</li> <li>・図 女性が就業を継続・中断した場合の賃金比較 (P243)</li> <li>・図 賃金の年齢カーブ (P243)</li> <li>・図 管理職に占める女性の割合 (P243)</li> <li>・図 30歳未満単身男女の支出内訳 (P244)</li> </ul>
家族に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家族とは何か」と聞かれたら、あなたは何と答えるだろうか。多くの場合、父・母、祖父・祖母、きょうだい、夫・妻など、結婚や血縁などによってつながり、自分と関わりの深い人々を家族と考えている。(P28)</li> <li>・家族は、個人の生活や意識に大きな影響を与える特別な存在である。(P28)</li> <li>・家族は、それ以外の集団と異なり、子どもを生み育てる機能を持っている。(P28)</li> <li>・家族は、私的な存在であると同時に社会的な存在でもある。(P28)</li> <li>・コラム 「出生家族」と「創設家族」(P28)</li> <li>・家族は、必ずしも範囲が明確ではない。(P29)</li> <li>・図 世帯の分類と世帯構成 (P29)</li> <li>・図 核家族世帯の例 (P29)</li> <li>・図 拡大家族世帯の例 (P29)</li> <li>・図 一般世帯における家族構成の割合の推移 (P30)</li> <li>・子どもを生み育てる機能は、家族が持つ基本的な機能として、家庭に最後まで残るとされている。(P31)</li> <li>・家族と法律 (P32～35)</li> <li>・家族に関する法は、民法、戸籍法、各種の社会保障法等から成っているが、なかでも民法には、家族や家庭生活についての決まりが多く定められている。(P32)</li> <li>・図 旧民法と現行民法との比較 (P32)</li> <li>・図 3親等内の親族 (P33)</li> </ul>

記述の内容	
性差に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図 生涯賃金の比較(2016年) (P15)</li> <li>・コラム 多様な性のあり方 (P16)</li> <li>・コラム パートナーシップ制度 (P16)</li> <li>・コラム ほかの国の事実婚 (P17)</li> <li>・図 結婚することの利点 (P17)</li> <li>・図 旧民法と現行民法の比較 (P21)</li> <li>・図 50歳時未婚率 (P23)</li> <li>・図 晩婚化(平均初婚年齢の推移) (P23)</li> <li>・性別役割分業が一般的であった頃は、職業労働を夫が担い、家事労働を妻が担う形が多かった。1985年の女子差別撤廃条約の批准を機に、国内では男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法の施行など、女性の社会における待遇を改善する取り組みが進められた。男女が協力して職業労働・家事労働をこなすことは当たり前という意識が社会に定着しつつある。(P24)</li> <li>・男女の協力に対する意識が高まっているものの、日本の男女共同参画のレベルは、ジェンダーギャップ指数が153か国中世界第121位と、まだまだ低い水準にある。(P24)</li> <li>・図 女性の労働力人口比率(2016年) (P24)</li> <li>・図 性別役割分業についての意識の変化 (P24)</li> <li>・図 6歳未満の子どもをもつ夫婦の家事の時間 (P25)</li> <li>・育児休業取得率でみると、母親が82.2%であるのに対し、父親は6.16%と圧倒的に低い。(P58)</li> <li>・図 育児休業の取得率 (P58)</li> </ul>
家族に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コラム パートナーシップ制度 (P16)</li> <li>・コラム ほかの国の事実婚 (P17)</li> <li>・結婚すると、2人は法律で家族として認められる。家族は、衣食住、経済を共同で管理しながら生活を営んでいく。(P17)</li> <li>・家族には明確な定義はないため、人によってイメージする構成や範囲は多様である。家族の形は、社会の状況や文化、時代によって変わる。(P18)</li> <li>・図 家族のふたつの形 (P18)</li> <li>・図 出生家族と創設家族 (P18)</li> <li>・法律における家族 (P20~21)</li> <li>・家族は、構成する人同士の精神的・生活的なつながりだけでなく、法律によっても強く結びつけられている。(P20)</li> <li>・図 親等表 (P20)</li> <li>・図 旧民法と現行民法の比較 (P21)</li> <li>・図 世帯構成割合の変化 (P22)</li> <li>・親の仕事や、子どもの塾通いなど、家族が忙しさに追われがちな今、家族の会話などの機会が少なくなっている。そのため、家族の団らんの場となったり、きずなを強めたりする家庭の機能がはたらかず、家族関係がうまくいかなくなることもある。(P23)</li> <li>・家族の形や雇用形態など、生き方の選択肢が多様になってきた。(P26)</li> </ul>

記述の内容	
性差に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性と生殖に関する権利を行使する主体として、他者の気持ちを尊重し、自分の思いも大切に、豊かな関係を築いていきたい。(P17)</li> <li>・コラム 性と人権～Noといえますか？(P17)</li> <li>・男女共同参画社会の推進(P18)</li> <li>・社会のあらゆる場において、性別に伴う固定観念(ジェンダー:gender)を根拠に人生の選択や活動の範囲が狭められたりすることのないよう、国内の制度や慣習の見直しははかられてきた。(P18)</li> <li>・育児・介護休業法は改正を重ね、2015年9月には、女性活躍推進法が施行された。(P18)</li> <li>・女性のためのみならず、男性を含めたすべての人にとって、性別にかかわらず自分らしい生き方を可能とする社会に実現をめざしたい。(P18)</li> <li>・図 それぞれの分野で男女の地位は平等ですか？(P18)</li> <li>・日本社会は古くからある慣習として、男性が収入労働に携わり、女性は家庭で家事労働と育児を主として行うというものがあつた。(P19)</li> <li>・図 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方をどう思う？(P19)</li> <li>・図 男性が家事・育児を行うことのイメージは？(P19)</li> <li>・図 男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なことは何？(P19)</li> <li>・図 どのような仕事が理想的だと思うか(P20)</li> <li>・図 女性の労働力率の国際比較(2018年)(P23)</li> <li>・図 男女の労働時間(日本・2018年)(P23)</li> <li>・図 50歳時の未婚割合の推移と将来推計(P25)</li> <li>・戸主が原則男性であつたため、親権や相続、財産管理などの権利が女性にはなかつた、ことである。(P28)</li> <li>・図 旧民法(明治民法)と現行民法の比較(P28)</li> <li>・女性の婚姻最低年齢は男性と同じ18歳に引き上げられる。これは、男女平等の立場からなされたものである。(P29)</li> <li>・コラム 選択的夫婦別姓制度とは？(P29)</li> <li>・図 選択的夫婦別姓制度についてどう思いますか？(P29)</li> <li>・図 6歳未満の子どもをもつ夫婦の家事・育児関連時間(1日あたり)(P56)</li> </ul>
家族に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族は夫婦を中心として、親やきょうだいなど、近親者を主な構成員としている。(P24)</li> <li>・家族は同居して暮らす場合が多いが、さまざまな事情で離れて暮らし、別世帯となっている場合もある。(P24)</li> <li>・人々の家族に対する価値は増加している。一番大切なものに「家族」をあげている人の割合は1958年は12%だったが、2013年には44%となっている。(P24)</li> <li>・図 あなたにとって一番大切なもの(P24)</li> <li>・多くの場合、人は一生の間に二つの家族を経験するといわれている。(P25)</li> <li>・図 世帯構成の変化(P26)</li> <li>・家族という人間関係は、愛も憎しみも深いため、時には家族のなかで傷つき、その後の人生に深い傷を残すこともある。特に、家族のなかで起こる暴力や虐待は大きな問題である。(P27)</li> <li>・家族に関する法律(P28～31)</li> <li>・1947年の民法改正において家族法が全面的に改定されたことにより、「家」制度は廃止された。(P28)</li> <li>・図 旧民法(明治民法)と現行民法の比較(P28)</li> <li>・コラム 選択的夫婦別姓制度とは？(P29)</li> <li>・図 選択的夫婦別姓制度についてどう思いますか？(P29)</li> <li>・図 民法における親族の範囲(第725条)(P31)</li> </ul>

記述の内容	
性 差 に 関 す る 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図 雇用形態別の婚姻・交際状況 (P12)</li> <li>・社会の慣習の中には、生物的性差だけで生き方や役割を固定して期待する「男性像」「女性像」がある。このような「歴史的・社会的・文化的に形成された性のありよう」をジェンダーという。(P17)</li> <li>・多様な性 (P13)</li> <li>・日本では、高度経済成長期(1950年代後半～)以降、「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という性別役割分業意識が経済政策的に強化された。しかし、国際社会では男女平等の考えが強まり、1979年に女子差別撤廃条約が国連で採択された。日本も1985年に条約に批准し、それを受けて、男女雇用機会均等法は施行されたり、中学・高校家庭科が男女共修に変更されたりした。(P18)</li> <li>・現在は、固定的な性別役割分業意識や社会のしくみを変え、家庭や地域や社会において性別にかかわらずその個性と能力を発揮する男女共同参画社会がめざされている。(P18)</li> <li>・日本の働く女性は男性よりも家事時間が長く、諸外国より男女差が大きい。また、管理職や議員に占める女性の割合は諸外国と比べて低く、ジェンダーギャップ指数も下位である。(P18)</li> <li>・図 「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という考え方 (P18)</li> <li>・図 就業者及び管理職に占める女性の割合 (P18)</li> <li>・図 ジェンダーギャップ指数 ジェンダーギャップ指数の4分野 (P18)</li> <li>・誰もが性的な関係、妊娠、避妊、中絶、出産について自分自身で決めることができ、その選択が守られる権利をもっている。これをリプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康/権利)という。(P19)</li> <li>・DVの背景には、「男性がリードし、女性は控えめに従うのがよい」といった固定的な意識や、愛情を理由とする過剰な独占欲や嫉妬心による束縛などがある。(P19)</li> <li>・DV被害に関する主な相談先 (P19)</li> <li>・デートDVってどんなこと? DVと固定的な性別役割分業意識はどうして関連しているだろうか考えてみよう。(P19)</li> <li>・特に若年層に、また、男性と比べて女性に非正規雇用者の割合が高い。(P22)</li> <li>・女性のなかには結婚や出産後も仕事を続けたいと考えていても、仕事と家庭を両立できる環境が整っていないことなどから仕事を辞めざるをえない人もいる。(P22)</li> <li>・図 非正規雇用者の推移 (P22)</li> <li>・図 雇用形態別賃金(月額) (P22)</li> <li>・図 学歴別賃金(月額) (P22)</li> <li>・図 女性のライフコースの違いによる賃金比較 (P22)</li> <li>・図 平均初婚年齢 (P33)</li> <li>・図 生涯未婚率の推移 (P33)</li> <li>・婚姻についての憲法と旧民法 (P38)</li> <li>・日本国憲法の制定にかかわったベアテ・シオタ・ゴードン (P38)</li> <li>・夫婦同氏については「女子差別撤廃条約」に基づき設置された委員会から、差別的な規定であると懸念が表明されたが、裁判では合憲判決が示されており、議論が続いている。(P39)</li> <li>・図 選択的夫婦別姓に関する意識調査 (P39)</li> <li>・「3歳児神話」や「母性神話」では、子どもが小さいときは母親が育児に専念することの必要性が示されている。しかし、妊娠・出産も含めて、子どもを守り育てる仕事は、母親だけでなく、母親と父親、それに代わる立場の人たちが、地域・社会の支援制度の下で互いに協力し合って成し遂げていくものである。(P58)</li> <li>・図 6歳未満の子どもをもつ夫婦の家事・育児関連時間の国際比較(1日あたり) (P66)</li> <li>・つくられた「3歳児神話・母性神話」(P66)</li> <li>・かつて愛着の対象は母親一人に限られるとされていたが、その後の研究によって、父母・祖父母・保育者にでも、地域のかかわりの深いおとなにでも、子どもの欲求に的確にこたえる一定の養育者を対象にすることが明らかになった。(P67)</li> <li>・図 育児休業の取得率の推移 (P71)</li> <li>・男性の取得率は低く女性に偏っているなど、この利用については問題が多い。(P71)</li> <li>・ジェンダー不平等指数(GII) (P97)</li> <li>・性別によっても消費支出に違いがある。30歳未満の単身の男女別の世帯の消費支出の割合をみると、食料費や教養娯楽費は男性の方が高く、被服・履物費や保健医療費は女性の方が高くなっている。(P219)</li> <li>・図 消費支出の費用別割合(30歳未満単身) (P219)</li> <li>・図 父親の育児休業に関する国際比較 (P247)</li> <li>・図 夫婦の育児・家事時間の国際比較 (P247)</li> </ul>

家族に関する表現

- ・家族を創る・創らないにかかわらず、友人や地域の人、世代の異なる人などのかかわりをどのようにもつのかを考えることは重要である。(P30)
- ・自分が生まれた家族を「出生家族」、自分自身がつくっていく家族を「創設家族」という。(P30)
- ・家族は、一般に、結婚や血縁などのつながりのある人びとやその集団と考えられることが多い。しかし、家族とみなす範囲は個人によって異なり、一緒に暮らしていても、それぞれ自分が家族だと思う人は異なる場合がある。(P31)
- ・いろいろな家族 (P31)
- ・図 家族類型別一般世帯割合の推移 (P32)
- ・家族には、親子の関係、夫婦の関係・兄弟姉妹関係などがある。(P35)
- ・1994年の国際家族年の原則では、「家族は…さまざまな形態と機能を有するものであって……すべての個人に与えられた基本的人権および自由を促進すべきである」と述べている。(P35)
- ・家族関係を見つめ、新たに創る視点 (P35)
- ・家族だけでなく、家族以外の人や相談できる場所に相談すると、解決がたやすいこともある。(P36)
- ・家族は、大小あっても常に問題を抱えているものである。そのようなとき、家族の中で解決しようとするのではなく、開放的な家族でありたい。(P36)
- ・図 家族に関する問題に対処するための団体や機関・主な相談先と相談内容 (P36)
- ・法律では、「家族」という文言は使用されていない。(P38)
- ・家族は個人的な人の集まりだから法律が深くかかわっていない、と思っているかもしれない。(P38)
- ・民法は、家族・親族・扶養・相続などに関する決まりであり、個人の家族・家庭生活のあり方を大枠で規制している。(P38)
- ・婚姻についての憲法と旧民法 (P38)
- ・家族に関する法律は部分的な改正が行われてきた。(P39)
- ・図 選択的夫婦別姓に関する意識調査 (P39)
- ・家族に関する法律 (P40～41)
- ・図 三親等内の親族図 (P41)
- ・家族の中に生まれた子どもは、同時に社会全体の未来をになう子どもとしてとらえ、法律などで子どもの発達を促す取り決めがされてきた歴史がある。(P72)
- ・病気や障害、高齢、精神的な問題などを抱えた家族に対し、おとながするようなケアを担う18歳未満の子どものことをヤングケアラーという。(P88)

記述の内容	
性差に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図 寿命が60歳の時代と90歳の時代の人生 平均寿命の比較 (P8)</li> <li>・図 平均初婚年齢の推移 (P19)</li> <li>・図 生涯未婚率の推移 (P19)</li> <li>・図 結婚の条件 (P19)</li> <li>・コラム 多様な性(性はグラデーション) (P21)</li> <li>・コラム DV(ドメスティック・バイオレンス) (P31)</li> <li>・夫婦の生活時間 (P33)</li> <li>・コラム 民法の変化 (P35)</li> <li>・男女共同参画社会基本法(1999年)制定から20年経った今でも、性別による待遇差や不利益が存在する。世界的に見ても、日本は、生活と仕事のバランスにおいて男女が平等ではなく、いまだに残る性別役割分業意識から、女性が家事労働と職業労働の両方を担う家庭も多い。(P36)</li> <li>・男女・年齢階級別労働力人口比率の推移 (P36)</li> <li>・出産前後の女性の就業状況の変化 (P36)</li> <li>・男女共同参画社会基本法 (P37)</li> <li>・図 男女・就業形態別給与水準の比較 (P37)</li> <li>・図 グローバル・ジェンダーギャップ指数(2018年) (P37)</li> <li>・図 男女の幸福度国際比較 (P37)</li> <li>・日本の父親の育児時間は諸外国に比べてかなり短い。父子関係を築きにくいばかりか、母親一人で育児をする「ワンオペ育児」は、子育てのために退職や転職をするといった人生の大きな選択を女性の側だけが背負う理由にもなっている。(P64)</li> <li>・図 6歳未満の子どもをもつ夫の家事・育児関連時間(1日当たり) (P65)</li> <li>・図 育児休業取得者の割合 (P65)</li> <li>・図 子どもの遊び相手 (P67)</li> <li>・図 日本人の平均寿命の推移と将来推計 (P75)</li> <li>・図 65歳以上の一人暮らしの者の動向 (P79)</li> <li>・図 雇用形態、性、年齢階級別賃金(月額)違い (P115)</li> <li>・図 働き方による累積年収の比較 (P121)</li> </ul>
家族に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族は、一般的に「夫婦とその血縁関係を中心に構成され、共同生活の単位となる集団」と定義される。(P28)</li> <li>・「生まれ育つ家族(出生家族)」と「つくる家族(創設家族)」など、家族は一生の間に変化する。(P28)</li> <li>・「あなたの家族は?と聞かれて思い浮かんだ家族の範囲をファミリー・アイデンティティという。もし、あなたが家族と思えば、ペットも家族である。結婚や血縁関係にはなくても、一緒に暮らす人が「家族」と思えば家族である。家族をどう考えるか、どのような家族でありたいかは、人によりさまざまで、家族のありようは一人ひとりの主観によって決められていくものである。(P28)</li> <li>・家族は、一般的な定義はあるが、範囲は明確ではない。(P28)</li> <li>・図 生まれ育つ家族とつくる家族 (P29)</li> <li>・図 世帯の分類と家族構成 (P29)</li> <li>・図 家族類型別一般世帯数の割合と変化の予測 (P29)</li> <li>・コラム 「何かあったとき」の家族の範囲 (P29)</li> <li>・家族は、一般に、ほかの集団に比べて一体感の強い集団である。(P30)</li> <li>・家族は、かけがえのない愛情によってあたたかくつつまれる反面、何かのきっかけで不和になると離れることが容易ではないため、大きなしこりが残ることがある。(P30)</li> <li>・時として、家族という閉ざされた集団の中では、解決困難な大きな問題が起きる。(P30)</li> <li>・図 家族の人間関係 (P31)</li> <li>・法律から見る家族・家庭 (P34~35)</li> <li>・図 三親等内の親族 (P34)</li> <li>・家族・家庭に関する法律には民法や戸籍法があり、婚姻や離婚、親子や親族関係、扶養や相続について定めている。(P34)</li> <li>・コラム 民法の変化 (P35)</li> <li>・家族・家庭の問題は、社会全体の問題である。(P36)</li> <li>・コラム 血縁にこだわらない家族 (P65)</li> <li>・高齢者にとって、身近な人、特に家族との交流は、離れて暮らしていたとしても、心の支えとなる。(P78)</li> <li>・介護保険を利用することで、高齢者はより専門的で質の高い介護を受けることができ、家族の介護の負担を軽減できる。(P80)</li> </ul>

記述の内容	
性差に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図 正規、不正規雇用者の割合 (P10)</li> <li>・コラム 高校生が将来つきたい職業ランキング (P11)</li> <li>・働き方が変化するなかで、男性の稼ぎ手が一人前の所得を得て、女性が家事・育児・介護をするというような分業を前提にした生活スタイルに多くの矛盾が生じていることである。(P11)</li> <li>・図 女性の年齢別労働力率 (P12)</li> <li>・男性に比べて、日本の女性の年齢別労働力率は出産育児期に労働力が下がり、子育て後に再び上がるM字型曲線を描くことが特徴である。(P12)</li> <li>・非正規雇用者の割合は、男性に比べて女性の方が圧倒的に多く、女性雇用者のうち非正規雇用者の割合は半数を超えている。年収をみても、男性に比べて女性の方が低い。(P12)</li> <li>・男性には大黒柱の役割が期待され、仕事優先、長時間労働があたり前になっており、家事・育児などの家庭責任を果たすのが難しい。(P12)</li> <li>・女性にも男性にも働きにくい環境を生み出す基盤があるが、ジェンダーにもとづいた固定的な性別役割分業の考え方である。1960年代以降。「男は仕事、女は家事・育児」という性別役割分業意識が一般化し、今も、それにもとづいた性別役割分担のしくみが仕事や社会制度に反映されている。(P12)</li> <li>・図 ジェンダー・ギャップ指数 (P13)</li> <li>・図 未婚者の異性ととの交際状況 (P18)</li> <li>・図 性・年齢別未婚率の推移 (P18)</li> <li>・図 平均初婚年齢の変化 (P18)</li> <li>・図 生涯未婚率の推移 (P18)</li> <li>・図 結婚の利点 (P21)</li> <li>・図 明治民法と現行民法の比較 (P22)</li> <li>・図 平均寿命を健康寿命の差 (P63)</li> <li>・介護する人を性別にみると、女性が約7割、男性が約3割である。これまでは女性が圧倒的多数を占めていたが、近年男性介護者の割合も増加している。(P64)</li> </ul>
家族に関する表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたは「あなたの家族はだれですか」という問いに、どう答えるだろうか。今日、人々が思い浮かべる家族の範囲は、その人が家族と認識する基準によって異なっている。(P14)</li> <li>・私たちにとって、家族(family)は、生活のよりどころであり、心のよりどころである。私たちは家族や周りの人々に支えられ、私たちもそれらの人々を支えながら、社会に働きかけている。(P14)</li> <li>・図 出生家族と創設家族 (P14)</li> <li>・図 さかざまな世帯 (P15)</li> <li>・図 家族類型別一般世帯割合の推移 (P15)</li> <li>・家族は、炊事や洗濯、裁縫やつくろい、子どもの出産や教養、教育。散髪や整髪、病人や高齢者の世話・看病・介護、結婚式や祝いごと、葬式や祖先の供養、休息や娯楽など、広い範囲にわたる多数の機能を果たしていた。(P16)</li> <li>・1950年代後半以降、夫はサラリーマン、妻は専業主婦という家族が増加し、家族の機能の多くは企業・工場へ移って、家族・家庭は、おもに消費機能を果たす場となった。(P17)</li> <li>・家族は、家族員に精神的な安らぎを与える情緒的安定、子どもの教育と人格形成、衣食住などの生活活動や生活文化の伝承や創造、健康増進や病気の予防・応急処置などの機能を担っている。(P17)</li> <li>・現代の家族・家庭は、生活課題の解決や豊かな生活の実現のために、ライフステージの各段階で社会保障制度や社会的支援のサポートをマネジメントする機能も求められている。(P17)</li> <li>・家族は私たちがさまざまなストレスから保護し、幸福の追求を担っている。しかし、長期にわたって全人格的な深いかかわりを持つ家族であることからこそ、ときに意見の食い違い、愛情の葛藤などの相反する感情を生むこともあり、家庭内に問題を閉じこめやすい。(P21)</li> <li>・さまざまな家族のかたち (P21)</li> <li>・家族に関する法律 (P22~25)</li> <li>・トライ 家族問題クイズ (P22)</li> <li>・図 明治民法と現行民法の比較 (P22)</li> <li>・日本では、家族に関する法律は、おもに民法の第四編・親族と第五編・相続に規定されており、この二編を家族法と呼んでいる。(P22)</li> <li>・図 民法における親族の範囲 (P25)</li> <li>・父親や家族の役割 (P31)</li> <li>・多くの高齢者は配偶者やパートナーと子どもを心の支えと感じており、高齢者を見守り精神的に支えるという家族の役割は重要である。(P60)</li> <li>・一方、家族の生活を支える高齢者の役割も大きい。(P60)</li> </ul>

「別紙2-7」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 オリンピック、パラリンピックの扱い】 (家庭総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	扱いの有無	扱い方(本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	家庭総合 自立・共生・創造	有	P79 トライ	超高齢社会を共に生きる	・高齢者のライフコースと社会の出来事の間連を調べるワークの、社会の出来事で示されている。
教図	702	未来へつなぐ 家庭総合 365	無			
実教	703	家庭総合	有	P241 コラム・写真	消費行動を考える	・家庭から出される小型家電を市町村が回収し、決められた事業者に引き渡した後、資源を回収、リサイクルする仕組みが始まった。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは約5000個のメダルが作成された。
開隆堂	704	家庭総合 明日の生活を築く	有	P188 本文・写真	衣生活の科学と文化	・オリンピックで使用されてきた競泳用着(女子競泳用)を例にして、形や素材の変化・進化をたどる。
大修館	705	クリエイティブ・リビング Creative Living 『家庭総合』で生活をつくろう	有	P215 資料・写真	衣生活のマネジメント	・オリンピックで選手が着るユニフォームには、何らかの意味が込められていることを説明している。
第一	706	高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる	無			

「別紙2-8」【「成年年齢の18歳への引き下げ」の扱い】（家庭総合）

発行者	教科書 番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	家庭総合 自立・共生・創造	有	P16 コラム P267 コラム	生涯を見通す これからの生活を創造する	<ul style="list-style-type: none"> <li>成年年齢には民法上2つの意味があることについて説明している。</li> <li>民法改正により、10代はより主体的に社会を創造していく存在になったことを説明している。</li> </ul>
教図	702	未来へつなぐ 家庭総合 365	有	P13 コラム P28 本文 P234 本文 P234 コラム	青年期の自立と家族・家庭 青年期の自立と家族・家庭 消費生活と意思決定 消費生活と意思決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>成人になると、親の同意なく契約が可能になることが示されている。</li> <li>世界と比較して、成人になるとどのようなことが変わるか説明している。</li> <li>18歳になると親の同意なしで契約ができるようになる。契約には責任がともなうことが説明されている。</li> <li>18歳になると何ができるかできないか説明している。</li> </ul>
実教	703	家庭総合	有	P15 本文 P15 コラム P231 本文 P237 本文	これからの人生について考えてみよう これからの人生について考えてみよう 消費行動を考える 消費行動を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生のうちに「大人」として社会的に認められることを説明している。</li> <li>若者の意思決定の重要性が大きくなったことを説明している。</li> <li>青年年齢の引き下げにより、高校生でも18歳からはひとりの契約当事者として責任が求められることについて説明している。</li> <li>18歳で成人者となることによって、契約の主体者として権利と責任が増すことを説明している。</li> </ul>
開隆堂	704	家庭総合 明日の生活を築く	有	P13 写真  P39 参考資料  P229 本文  P229 本文	青年期の自立  家族・家庭および社会  消費行動と意思決定  消費行動と意思決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>選挙を行う写真を示している。</li> <li>成年年齢の変更とそれともなう民法改正について示している。</li> <li>成年年齢引き下げと契約について説明している。</li> <li>成年年齢引き下げにより、18歳でできるようになることについて示している。</li> </ul>
大修館	705	クリエイティブ・リビング Creative Living 『家庭総合』で生活をつくらう	有	P17 本文 P21 アクティブラーニング P123 コラム P138 本文	青年期の課題と自立 青年期の課題と自立 経済生活のマネジメント 経済生活のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>成年年齢が18歳となったこと、成年年齢には、2つの意味があることを説明している。</li> <li>成人することと、自立することを説明している。</li> <li>契約の相談件数について説明している。</li> <li>18歳で変わる消費生活について振り返っている。</li> </ul>
第一	706	高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる	有	P9 コラム P22 コラム P22 インフォメーション	これからの生き方と家族 これからの生き方と家族 これからの生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>18歳成年認識度チェックを問題形式で示している。</li> <li>諸外国における成年年齢、婚姻適齢について示している。</li> <li>成年年齢引き下げについて説明している。</li> </ul>

「別紙2-9」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 「契約」について取り上げられているページ】(家庭総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	取り上げられているページ	内容
東書	701	家庭総合 自立・共生・創造	有	・6ページ (P234～239)	・購入・支払いのルールと方法 ・消費者の権利と責任
教図	702	未来へつなぐ 家庭総合 365	有	・11ページ (P233～243)	・契約の重要性 ・消費者信用のしくみ ・消費者問題の現状と課題 ・消費者問題にあつたら
実教	703	家庭総合	有	・6ページ (P228～233)	・消費生活の現状と課題
開隆堂	704	家庭総合 明日の生活を築く	有	・4ページ (P229～232)	・消費者の落とし穴 ・行動する消費者
大修館	705	クリエイティブ・リビング Creative Living 『家庭総合』で生活をつくらう	有	・12ページ (P122～133)	・18歳で変わる消費生活 ・進むキャッシュレス社会 ・「お金を借りる」ということ ・消費者トラブルの今 ・消費者の自立を支援する
第一	706	高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる	有	・8ページ (P224～231)	・契約とは ・消費者問題はなぜ起こるのか ・多様化する支払い方法とリスク防止

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(家庭総合)

発行者	教科書番号	教科書名	構成上の工夫
東書	701	家庭総合 自立・共生・創造	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各見開きページの各所に、「TRY」と題した発問が示されている。</li> <li>各章末にホームプロジェクトのテーマが探せるチャートが示されている。</li> </ul> <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>裏表紙に「全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。」と示している。</li> <li>裏表紙に「見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と示している。</li> </ul> <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>もくじに「『D』インターネット上で見ることができる、学習に関連したコンテンツ。動画やシミュレーション、ウェブサイトなどがある。インターネットには、二次元コード(右)からURL(下)のどちらかをを使って、アクセスしよう。」と示している。</li> <li>もくじに「『Web』相談窓口や学習に関連した情報など、実生活に役立つウェブサイト名。必要に応じて見てみよう」と示している。</li> </ul>
教図	702	未来へつなぐ 家庭総合 365	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の冒頭に、各章に関するSDGsが示されている。</li> <li>各見開きページの各所に、「TRY」と題した発問が示されている。</li> <li>各章末に、各章に関するテーマについて世界的な比較、身のまわり事例調査、自分の考えを深める「Viewpoint」が示されている。</li> </ul> <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>裏表紙に「※ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集されています。」と示している。</li> </ul> <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目次に「QRコードをタブレットやスマートフォンで読み取ると学習に関連する動画や写真を見ることができます。」と示している。</li> </ul>
実教	703	家庭総合	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の冒頭に、各単元に関する「Start Activity」が示されている。</li> <li>各見開きページの各所に、「Activity」と題した発問が示されている。</li> <li>「実践コーナー」、「Cross Activity」が示されている。</li> <li>各単元末に、「『Check』～学習を振り返って」が示されている。</li> </ul> <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>裏表紙に「この教科書はカラーユニバーサルデザインに配慮して編修しています。」と示している。</li> <li>裏表紙に「見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と示している。</li> </ul> <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>もくじに「QRマークを掲載したページには、インターネット上に本書の学習に関連した動画を用意してあります。右のQRコードまたは下記にURLにアクセスしてご利用ください。アクセスすると、メニュー画面が表示されます。」と示している。</li> <li>裏表紙に「本文中にQRマークがあるところは、インターネット上にあるコンテンツを利用できます。右記のQRコードまたは下記にURLにアクセスしてご利用ください。」と示している。</li> </ul>

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(家庭総合)

発行者	教科書番号	教科書名	構成上の工夫
開隆堂	704	家庭総合 明日の生活を築く	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の冒頭に、各章に関する関心項目の質問が示されている。</li> <li>各見開きページの各所に、「話し合ってみよう」、「調べてみよう」、「考えてみよう」と題した発問が示されている。</li> <li>各章末に、各章に関する「視野を広げて」、「先輩の声を聞く」、「これまでの学習をまとめてみよう」が示されている。</li> </ul> <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>裏表紙に「本文は見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています」と示している。</li> </ul> <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>もくじに、「QRコードに対応した端末で読み取ると、教科書の内容に関するコンテンツを参照することができます。コンテンツがある該当箇所には、QRマークが掲載してあります。QRコードを読み取れない場合などには、以下のURLを入力して参照することもできます。」と示している。</li> </ul>
大修館	705	クリエイティブ・リビング Creative Living 『家庭総合』で生活をつくらう	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各ページに、「Active Learning」が示されている。</li> <li>学んだことを深める「Skill up」が示されている。</li> </ul> <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>口絵に「授業の大切なツールである教科書もユニバーサルデザインに取り組んでいます。」と示している。</li> <li>裏表紙に「この教科書はユニバーサルデザインに配慮しています。」と示している。</li> </ul> <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>口絵に「資料等にQRコードがついている場合は、Webページから参考情報を調べることができる」と示している。</li> </ul>
第一	706	高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる	<p>①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各見開きページの各所に、「TRY」と題した発問が示されている。</li> <li>実践例を紹介した「深めよう活かそう」が示されている。</li> <li>各章末にホームプロジェクトの実践例を紹介していると示している。</li> </ul> <p>②ユニバーサルデザインの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>裏表紙に「この教科書はユニバーサルデザイン(カラーバリアフリーを含む)に配慮しています」と示している。</li> </ul> <p>③デジタルコンテンツの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に、「パソコン・スマートフォンなどから関連動画などのコンテンツを視聴できる」と示している。</li> </ul>

